

(4) 柏病院（院長：東條克能、副院長：岸本幸一、吉田 博、秋葉直志、事務部長：宮崎栄一）

(1) 患者数・病床稼働率・患者紹介率等

- ① 一日平均外来患者数：1,477名（前年度比－75名）
- ② 一日平均入院患者数：543名（前年度比＋2名）
- ③ 病床利用率：稼働床650床に対して86.9%（昨年度は稼働床613床に対して88.3%）
- ④ 平均在院日数：14.2日（昨年度12.6日）
- ⑤ 患者紹介率：医療法62.9%、保険法63.4%
- ⑥ 逆紹介率：46.9%

(2) 保険関係承認・届出関係

1) 施設基準に係る届出(新規及び加算内容の変更等)については下記の通りである。

① 平成26年4月1日付（医療費改定に伴う新規届出及び主な変更）

〈基本診療料〉

- ・変更 救命救急入院料3（1⇒3へ変更 熱傷加算追加）

〈特掲診療料〉

- ・新設 持続血糖測定器加算
- ・新設 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
- ・新設 網膜再建術
- ・新設 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）
- ・新設 経皮的冠動脈形成術
- ・新設 経皮的冠動脈ステント留置術
- ・新設 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）
- ・新設 1回線量増加加算
- ・変更 病理診断管理加算2（1⇒2へ変更）

② 平成26年6月1日付（新規届出）

- ・糖尿病合併症管理料
- ・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
- ・植込型除細動器移植術及び同交換術
- ・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び同交換術

③ 平成26年6月30日付(届出辞退)

- ・ニコチン依存管理料(患者ニーズと当院の診療体制見直しによる)

④ 平成26年10月1日付(診療報酬改定に伴う経過措置期間満了による届出)

- ・一般病棟入院基本料(7対1)
- ・急性期看護補助体制加算(50対1)
- ・救命救急入院料2(CCU)

⑤ 平成26年12月1日付

- ・特定集中治療室管理料4（診療報酬改定に伴う経過措置期間内の届出と広範囲熱傷の追加）

2) 先進医療届出

① 平成27年2月1日付

腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん（バージョンアップに伴うもの）

3) 地域連携パス連携協力医療機関届出

- ① 平成26年6月1日付 3施設
- ② 平成26年8月1日付 21施設
- ③ 平成26年10月1日付 3施設

(3) 診療体制

- ① 当院は地域がん診療連携拠点病院認定当時、敷地内禁煙等と共にたばこ対策の取組の一環として平成21年5月より禁煙外来を開始した経緯があるが、拠点病院指定要件とはさ

れておらず、近隣施設においても禁煙外来を実施する医療機関が増加している状況も踏まえ、平成26年6月末をもって禁煙外来を中止することとした。

- ② 脳ドックについて、既に多くの医療機関で実施していること、市の補助がなくなったこと、担当科の負担になっていることなどにより、平成26年4月中止した。
- ③ 平成26年4月、臨床の現場で生じた倫理的問題について検討、助言する、臨床倫理委員会及び臨床倫理コンサルテーション・チームを発足した。
- ④ 後発医薬品への切り替えについては、7月14日に19品目、平成27年3月に19品目を切り替え、これにより後発医薬品数量シェアは83.94%となる。
- ⑤ 7月、救急部診療部長が救急患者の後方病院の連携強化のため連携登録医療機関を訪問した。また、患者数の変動が多い登録機関（23施設）は院長・副院長が訪問した。4月の連携登録医制度更新に伴い、患者支援・医療連携センターが全ての登録医療機関を訪問した。
- ⑥ 平成26年12月より、3階手術室で行っていた硝子体注射を眼科外来で実施し、極力3階手術室を空けるよう変更した。
- ⑦ 外科診療の専門性を明確にし、患者にとって分かりやすい表記とするため、外科の届出標榜科目と院内標榜科目を追加した。
- ⑧ 平成27年2月、患者からの苦情・投書等に対する説明や改めて病院の機能を表明する内容として、患者への協力要請及び周知事項（①病院機能と国の医療政策の周知②待ち時間対策（外来予約推進）③電子カルテ導入に伴う再来受付機の周知等）をまとめ、患者と連携医療機関向けの案内パンフレットを作成するとともに、ホームページ及び院内掲示で広報した。

(4) 増床計画

平成23年4月26日に公示された千葉県保健医療計画の見直しにより、東葛北部二次医療圏の病床数（▲548床）に不足が生じ、当院では40床の増床申請を行い、平成24年3月28日付で40床の増床が許可された。第Ⅰ期増床計画は、救命救急センター内のカンファレンスルーム等を3人床の病室に用途変更し、平成25年7月1日付で使用許可を得て、届出床が624床から627床となった。第Ⅱ期増床は、B棟4階の旧スタッフルームを病棟に改修し、平成26年12月15日付で37床の増床の使用が許可され、4B病棟として開設した。これにより、届出床が627床から664床となり、40床の増床計画は完了した。

(5) 柏病院整備工事

診療機能拡充と37床増床のための新外来棟、D棟が平成26年7月31日に竣工し、その後、一部改修を必要とする病棟及び外来の工事が進められた。D棟に移転したスタッフルーム跡地を新たに4B病棟（産婦人科病棟）とする改修が11月30日に完了し、12月20日に4A病棟から患者の移転が行われ、運用を開始した。これに伴い、届出病床数が664床となった。また、懸案となっていた既存外来1、2階の診療ブース不足、車椅子対応など、外来の狭隘化やプライバシー確保、診察室の引き戸への変更などによる一部改修は12月末に完了した。平成27年1月～2月末日まで、外来患者の混雑緩和と災害対策に配慮した1階エントランスの拡張改修工事が完了し、3月1日に自動再来受付機と待合椅子の移設・更新が行われた。3月上旬に4A病棟（旧産婦人科病棟）の改修工事が完了し、各種検査を受け、4月1日より一般病棟として運用を開始した。以上により、平成27年3月末日を以って法改正によるエレベーターの遡及工事を残し、柏病院整備工事が完了した。

(6) 電子カルテ導入

平成25年10月に電子カルテ導入作業WGキックオフが行われ、平成27年1月1日の電子カルテの導入に向けて、病院業務改善委員会（HIS委員会）の下に電子カルテ導入全体運用WGと30部門ワーキンググループを発足し、準備が進められた。平成26年9月30日に院内の全体説明会、その後、院内の文書及び使用画像の収集、運用設計、マスタ登録・テスト、操作研修などを経て、リハーサル（10月19日、11月2日、11月16日）を実施し、テ

ストデータ検証、事前データ入力を行い、12月9日に最終的な全体説明会を行った。各部署への電子カルテシステムを設置、環境整備が行われ、PACS等の既存部門システムの更新やICU・手術室等の新規部門システムが導入され、旧システムからのデータ移行を経て、平成27年1月1日に葛飾医療センター、第三病院と同様の電子カルテシステムが本稼働した。

(7) 患者サービス関連

① 患者満足度調査について

電子カルテ導入により、平成26年度については患者満足度調査を実施しなかった。

② 院内放送について

電子カルテ導入に伴い、院内放送について、放送内容、放送時間の見直しを行い、平成27年1月5日より新しい内容の放送を開始した。

③ 市民公開講座

平成26年5月31日 精神神経科「認知症について」

講師：忽滑谷和孝診療部長（精神神経科）、井上可奈医療ソーシャルワーカー（患者支援・医療連携センター）

(8) 成医会柏支部例会

① 平成26年7月5日 第50回成医会柏支部例会を開催した。

② 平成26年12月6日 第51回成医会柏支部例会を開催した。

(9) 症例検討会（CPC）

① 平成26年6月18日 第35回症例検討会（CPC）

「顕微鏡的多発血管炎の経過中に重症心不全で死亡した一例」

② 平成26年11月26日 第36回症例検討会（CPC）

「AMIによりCABG施行後呼吸不全で失った一例」

(10) 指導・監査

① 平成26年10月30日柏市保健所による医療法に基づく立入り検査（医療監視）が行われた。

(11) 先進医療

・新規承認1件 腹腔鏡下センチネルリンパ節生検（早期胃がん）平成27年2月1日

・実施件数：10件

(12) 個人情報保護研修会

① 平成26年12月4日テレビ会議システムを利用した4機関同研修会を開催した。また、同DVD研修会を柏病院内で平成27年2月19日・27日に行った。

② 平成27年2月12日、国立がん研究センター東病院から講師を招き個人情報保護セミナー開催した。

③ 個人情報を含むUSBメモリ管理について、セーフティマネジメントマニュアル2015年度版に追記した。

④ 個人情報を含むFAX送信手順について、誤送信防止を再度徹底するため周知した。

(13) 地域がん診療連携拠点病院

地域がん診療連携拠点病院の指定要件に沿った設備、機能の整備を図った。年2回の市民公開講座にてがんの早期発見と根本治療などの医療知識を、がん講演会では免疫力を高める食事、リンパ浮腫予防、心のケアなどがん治療に関連する医療知識の提供に努め、がん予防、がん医療の提供に取り組んだ。平成26年度の患者数および講演会等の開催回数は次のとおりである。

・外来患者数：8,175名

・入院患者数：3,611名

・地域がん登録件数：1,755名

・緩和ケアチーム介入数：116件

・公開講座：2回

・がん・緩和ケア交流会（患者交流会）：12回

・がん講演会：6回

(14) 東葛北部地域難病相談・支援センター事業

平成18年度より実施していた吸引実技研修は、制度改正に伴う受講希望者の減少を受けて取りやめた。平成20年度より年1回開催していた講演会を、平成26年度から年2回に増やし、「ALSについて」、「障害のある方の在宅医療について」をテーマに医療講演会を開催した。

(15) 救命救急センター

救急部と全診療科が連携し、救急患者の積極的な受け入れ体制を強化した。特に、救急室においては救急受入コールにトリアージナースが1次・2次救急を担当し、3次救急は救急医師が対応を行うことで、救急搬送患者数及び救急患者数が増加した。

① 平成26年12月29日（月）17時より平成27年1月1日（木）9時まで電子カルテ導入により、千葉県広域災害・救急医療情報システム（ちば救急医療ネット）の受け入れをストップした。

② 救急患者数推移

平成26年4月～平成27年3月	1次救急	4,215名	（前年度比+493名）
	2次救急	2,194名	（前年度比+488名）
	3次救急	881名	（前年度比+126名）

③ 救急隊搬送件数

平成26年4月～平成27年3月 4,258名（前年度比+1,224名）

(16)ー1 医療安全

インシデント・アクシデント報告件数は、2,120件で、大学主催によるチーム医療構築ワークショップの参加者数は124名であった。その他柏病院で開催した医療安全のための教育研修については以下の通りである。

1. 新人教育 : 2回
2. 4病院合同セーフティマネジメントシンポジウム : 3回
3. Team STEPPS エssenシャルコース : 5回
4. チーム医療構築ワークショップ : 2回
5. 医療機器安全セミナー : 4回
6. MR安全講習会（放射線部） : 2回
7. 医療安全推進週間

平成26年11月1日～14日

講演「病院医療における安全・安心について考える」

昭和大学病院長・有賀 徹 先生

(16)ー2 感染対策

平成26年度の薬剤耐性菌院内発生率は低下した。抗菌薬の使用密度は4病院の中で最も高く、継続して適正使用推進に取り組んでいく。

1. 新人・委託業者教育 : 2回
2. 感染対策セミナー
 - ① 毎月開催（計22回）感染対策セミナーベーシック 延べ1316名参加
 - ② 各診療科における研修会（計21回）延べ203名参加
3. 感染対策地域連携カンファレンス : 4回
4. 私立医科大学病院感染対策協議会総会

① 平成26年7月26日

(16)ー3 医療安全・感染対策共催

1. 医療安全・感染管理基礎研修会 : 2回
2. 医療安全・感染対策合同セミナー : 1回
3. 附属4病院合同医療安全・感染対策相互ラウンド
 - ① 柏受け入れ 平成26年10月2日
 - ② 葛飾訪問 平成27年1月15日

③ 第三訪問 平成27年2月9日

④ 本院訪問 平成27年3月18日

4. 私立医科大学附属病院間医療安全相互ラウンド

組み合わせ病院：昭和大学横浜市北部病院

① 平成27年1月29日（訪問）

② 平成27年2月5日（受入）

5. 委託業者・派遣職員教育 : 2回

(17) 防火・防災

① DMATの活動と整備について

8月に開催された政府主催の広域医療搬送訓練（熊本・大分）に1チーム4名、11月に開催された関東ブロック訓練（群馬）に1チーム5名、1月に実施された柏市消防局多数傷病者事故・救助訓練に1チーム5名が参加した。また、12月に開催された千葉限定災害派遣医療チーム（CLDMAT）研修に1チーム5名（医師1名、看護師2名、業務調整員2名）、3月に開催された同研修に医師1名が受講し、組織拡大を図った。

② 防災訓練の実施

- ・平成26年6月10日 4階フロアにて消防避難訓練を実施
- ・平成26年12月9日 7階フロアにて消防避難訓練を実施
- ・平成27年2月11日 柏市及び柏市医師会との共催による大規模災害対策訓練を実施

③ その他

- ・平成26年9月9日 柏市自衛消防隊競技会に参加（男女混合1隊）※結果：最優秀賞

(18) 工事関係

- ① 本館C棟ナースコール設備更新工事 平成26年12月完了
- ② 本館共用部門フロア空調機整備工事 平成26年1月完了
- ③ 電話交換機更新工事 平成27年2月完了
- ④ 看護師寄宿舎整備工事 平成27年3月完了
- ⑤ 病棟陰圧病室設置工事 平成27年3月完了

(19) 初期臨床研修医関連

- ① 平成26年度研修医は医師国家試験の結果、18名（一般プログラム18名、小児科医育成プログラム、産科医育成プログラムなし）を採用した。よって、柏病院の研修医は平成25年度研修医17名と合わせて、35名となった。

(20) 行事・その他

- ① 平成26年7月柏市地球温暖化対策条例に基づく削減計画書により、温室効果ガス排出量基準8,947t-CO₂に対し9,005t-CO₂で、-0.06%削減を報告した。
- ② 平成26年7月31日 納涼盆踊り大会を開催した。
- ③ 平成26年12月26日病院忘年会を開催した。

(5) 総合健診・予防医学センター

センター長 銭谷 幹男

新橋健診センター 所長 和田 高士

晴海健診センター 所長 加地 正伸

1) 26年度実績（新橋健診センター）

年間受診者 17,886名

（内訳）

- *人間ドック 7,628名
- *入社健診 1,165名
- *定期健診 6,913名
- *特殊検診 1,683名